

登録コード	SE512400	開講年度	2026				
授業題目	陸水生態学演習Ⅱ					担当教員	宮原 裕一
英文授業名	Exercise in Aquatic EcologyⅡ					副担当	
単位数	1	講義期間	後期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学年	4年
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	
						備考	選択
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標		授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】
		26Sカリ, 25Sカリ, 24Sカリ, 23Sカリ					
		【2023年度以降カリキュラム対象】理学の各分野における専門知識				⇔	自らテーマを設定し, 観察や分析を行い, その成果を他者に分かりやすく説明することができる。
		【2023年度以降カリキュラム対象】専門知識や観察・実験などによって問題を理解・解決し, その成果を的確に他者に伝える力				⇔	自らテーマを設定し, 観察や分析を行い, その成果を他者に分かりやすく説明することができる。
		【2023年度以降カリキュラム対象】理学の基礎知識と専門知識を活用して課題を発見し取り組み, その成果を社会に役立てる力				⇔	自らテーマを設定し, 観察や分析を行い, その成果を他者に分かりやすく説明することができる。
(2)授業で学べる「テーマ」		環境共生					
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要		参加者自身の研究計画、及び研究成果を発表し、それに対して討議する。					
(5)授業のキーワード		湖沼生態系、河川生態系、物質循環、エネルギーフロー					
(6)授業計画		週に1回行い、数人が自ら行っている研究内容を紹介し、参加者全員がそれについて議論する なお、最終回には授業のふりかえりを入力する。					
(7)成績評価の方法		出席と討議への参加状況から評価する。					
(8)成績評価の基準		発表と討論への参加状況について評価する。 発表に際し、1) テーマに沿った適切なデータを収集し、2) 分かりやすい資料を準備し、3) 丁寧に分かりやすい発表ができれば、かなり上にあると評価する。 また、討論に積極的に参加し、適切な質疑ができたかも加味する。					
(9)事前事後学習の内容							
(10)履修上の注意		諏訪臨湖実験所（諏訪市湖岸通り5-2-4）で行います。					
(11)質問,相談への対応		随時対応する。					
【教科書】							
【参考書】		河川生態学入門、平林公男・東城幸治編 共立出版					